

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」三条校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		お子様の状況により支援スペースを広くとるなどの配慮を行っています。	法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切である	4		お子様一人に対し指導員一人が支援を行います。	お子様の振り返りを都度行い、情報共有をしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		お子様の特性に合わせ、多角的な視点から支援スペースの配慮を行っています。	情報過多になりすぎないように、提示の方法なども工夫をしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		毎日清掃を行っています。また支援の切り替え毎に消毒作業を行っています。	お子様の状況に合わせてコンセントなど事故に繋がる恐れのあるものは撤去するなどして配慮します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		日々の朝礼・終礼などを行い振り返り等行っております。	引き続き朝礼・終礼などで意見交換を行い個々のスキルアップのみならず、事業所全体のスキルアップに努めます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		支援後のフィードバックにて保護者様との意見交換を行っています。	保護者様からいただいた情報は職員間で検討し、支援に活かしていただけるよう情報共有を都度行います。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			職員・保護者に記入頂き、ホームページにて公開しております。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	現在、社内、保護者の2者評価を行っています。	個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付け上で実施いたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	一ヶ月の初任者研修を実施し、その後も継続的に研修を行っています。	今後も継続して行い、職員個々のスキルアップに繋げていきます。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4			計画期間ごとにアセスメントを行った上で個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			計画期間ごとにアセスメントを行った上で個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		お子様の状況、特性に合わせた支援プログラムを設定しております。また支援後にフィードバックの時間を設け、保護者様の相談に応じております。	保護者様により分かりやすい提示内容・方法を事業所全体で考えていきます。ご家族のご意見も踏まえ場合によっては修正を行います。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			お子様一人ひとりの状況に合わせた個々の支援プログラムを策定し、支援を行っております。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		お子様の事例を共有・議論するケース検討会を行っています。	より質の高いサービスを提供できるよう引き続き検討会を行います。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		支援後に事業所全体で振り返りを行い、次の学び、楽しみに繋がるようなプログラムを策定しています。	お子様一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学べる支援を追求します。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4			事業所全体での振り返り・アセスメントを元に、優先順位をつけて短期目標と長期目標を設定した個別支援計画を策定しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		朝礼・終礼を日次実施し、職員間で情報共有を行っています。	その日のうちに振り返りを行い、情報共有を行っております。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		朝礼・終礼を日次実施し、職員間で情報共有を行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		毎回支援記録を取り、見直す事でお子様の成長や生活環境の変化に合わせて、支援内容や方法を更新しています。	保護者様とのフィードバックでの情報共有も行いながら、より良い支援を行えるよう今後も支援内容などを検討していきます。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		担当相談員と定期的にもモニタリング等情報共有を図り判断しています。	今後も担当相談員との情報共有を図り、包括的な支援を行います。
	関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4			各市町村も含め各関係機関とも情報共有を行っています。

との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4		医療職スタッフがいない為、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等の意見を確認した上で慎重に判断しております。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4		医療職スタッフがいない為、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等の意見を確認した上で慎重に判断しております。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		連絡票を用いて情報提供できる体制を整えています。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		外部専門家による研修や教材・プログラムの監修を行っています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4		地域交流については、限られた支援時間の中で実施が難しいことから、イベント等でお子様全員に画一的に実施することはしておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付けた上で実施します。
	保護者への説明責任等	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	
㉗		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		支援後のフィードバックにて保護者様と情報共有を行っています。
㉘		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		当社にて実施しているペアレント・トレーニングについて情報提供を行っています。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		運営規定、利用者負担について、契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示、面談時にご説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様にフィードバックの時間を設けています。
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		ご契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要書類を掲示しています。個別支援計画の提示、面談時にご説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様にフィードバックの時間を設けています。

	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。場合によっては別で相談をお受けする場合もあります。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		今年は感染症予防の観点から開催を実施しておりません。今後の周辺状況を見ながら開催を検討致します。	
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			主にフィードバック時に相談に応じております。また、個別にご相談がある場合は支援時間に児童発達支援管理責任者が相談に応じています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			教室内に活動内容やイベントの案内等を掲示しています。また、ホームページなども活用し発信しております。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	4			個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			お子様・保護者様の状態に応じて、ICT やその他視覚的情報を活用して意思疎通・情報伝達等を実施しています。また合理的配慮に関するハンドブックを作成するなど、合理的配慮の推進についても尽力しております。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		教室によっては指導の様子を公開したり、教室開放の時間を設けています。	
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4			マニュアルを策定し、研修を実施しています。
		④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			月1回の避難訓練を実施しています。
		④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4			面談時に過去の病歴も含めお伺いしております。
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			全てのお子様についてアレルギーの有無を確認し、支援時に該当物質との接触が起こらないよう留意しています。	
④5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒヤリハットが起きた際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			マニュアルを策定し、研修を実施しています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4			マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは必要に応じて契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」三条校 保護者等数（児童数）：13 回収数：9 割合：69%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9					法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1			気になる物が目に入ると気が逸れてしまう。	お子様の状態・特性に配慮し、空間を分けるなどしてお子様が集中して取り組める環境を整備します。視覚的な配慮もより徹底して行います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9				こういう状況なので消毒作業をやっているのを見ると安心です。	毎日の清掃、支援毎の消毒・換気などの環境整備を継続して行います。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9					達成できる課題を明確に提示し、安心して利用して頂ける運営を心掛けていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				細かく記載があり分かり易い。	個別支援計画に沿った形でスモールステップで取り組める内容を明確に提示しています。フィードバックなど保護者のご意向も踏まえながら支援内容を設定しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			2	7		状況に合わせて関係機関との情報共有を行い、包括的な支援を行います。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					ご理解が頂ける様分かり易く丁寧な説明を心掛けています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9				フィードバックや必要に応じて個別でのご相談もお受けしております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9			毎回話せる時間があるのはありがたい。	フィードバックを通して情報共有を行い共通理解できるよう努めています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				定期的に困り感がないかなどをお伺いし、必要に応じて上限等を行っております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9			現在の感染状況等もあり参加できていない。	今年は密を避ける観点から行っておりません。感染状況等も留意しながら慎重に判断し、状況に応じて保護者会を開催し連携の支援を行えるよう努めます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9				全ての保護者様にご周知できるよう説明等もより分かり易くするなどの見直しを行い、適切な対応を行います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9			ホームページを見て活動を知る機会があります。次のイベント案内がある時、参考になります。	普段の活動やイベント内容など定期的に情報を発信しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9				
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4			5	全ての保護者様にご周知できるよう説明等もより分かり易くするなどの見直しを行い、適切な対応を行います。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5			4	ご利用の時間帯が異なる為個々に行っておりますが、全体での訓練等も行ってまいります。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	9			イベントなども楽しんでる。	通常支援・イベントなどを通して、楽しんで通所して頂けるよう事業所全体で取り組んでいきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	9				全ての保護者様にご満足いただけるような支援を心掛けます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。